



三重大生と本音でトーク

三重大学「働くということと労働組合（共同研究）」が終了

2017年10月2日（月）より2018年2月5日（月）まで、三重大学において共同研究「働くということと労働組合」と題した講義には、113名の1・2年生が受講しました。（全15回）

南雲理事長（元・連合事務局長）のゲストスピーカーをはじめ、毎週、

連合三重より様々な産業の労働組合でご活躍の組合役員に登壇していただいたり、学生とのグループ討議を行いました。

連合三重は、来年度も引き続き、労働教育の一環として、三重大学において講義を行う予定です。



▲グループ討議の前段で自己紹介する連合三重の役員



▲113名の学生を前に講義する吉川会長



▲グループ討議では様々な意見が出された。（座長・新沼副会長）

後期 三重大学「働くということと労働組合（共同研究）」

受講学生113名

回数	日時	講義テーマ	講師
第1回	10月2日(月)	オリエンテーション	藤本 真理 (三重大学教員)
第2回	10月16日(月)	働くことをどう捉えるか、働くことと労働組合の重要性	南雲 弘行 (教育文化協会理事長)
第3回	10月23日(月)	仲間をつなぐ ※台風のため11月29日に振替	伊藤 公則 (連合三重事務局長)
第4回	10月30日(月)	運輸産業界における様々な課題	小畑 明 (運輸労連中央書記長)
第5回	11月6日(月)	働くことへの期待と不安 (グループ討議)	連合三重四役とガクレポのみなさん
第6回	11月13日(月)	春闘って何?賃金・労働条件の取り組み	井上 猛 (JAM東海書記長)
第7回	11月20日(月)	ものづくりの現場から	大倉 竜児 (富士電機労働組合執行委員長)
第8回	11月27日(月)	サービスの質の向上をめざして	番条 喜芳 (三重県電力総連会長)
第9回	11月29日(水)	男女が共に働きやすい職場環境をつくる	平井 一彦 (JP労組三重県連絡協議会議長)
第10回	12月4日(月)	労働安全衛生の取り組み	松山 陽一 (ゴム連合三重県協議会議長)
第11回	12月11日(月)	よりよい労使関係をつくる	加藤 公友 (自動車総連三重地協事務局長)
第12回	12月18日(月)	働くあなたを応援します	輪野 美智子 (三重県雇用経済部雇用対策課)
第13回	1月15日(月)	労働組合の役割 (グループ討議)	連合三重四役のみなさん
第14回	1月22日(月)	これまでの振り返り	藤本 真理 (三重大学教員)
第15回	2月5日(月)	働くことと労働組合	吉川 秀治 (連合三重会長)

学生 の 声 受講してみて



- 労働組合が、地域や他の労働組合ともつながっており、社会貢献など幅広い活動もしていることもわかりました。
- 組合員もよい環境で働きたいなら労働組合に積極的にかかわっていくべきだと思いました。
- 労働組合の重要性がよく分かり、今の条件に満足するのではなく、みんなの働く環境をより良くしていくことと交渉を続けることの大切さを強く感じました。

- 企業の発展や成長には、健全な労使関係の基礎がないと成り立たないことが分かった。
- 自分たちの生活にかかわることが国で決められていることが多く、労働組合が、なぜ政治活動を行うのかが分かりました。
- 青年部の活動は若い人同士が親睦を深めるのにはとても良い活動だと思いました。
- 女性の参画社会が叫ばれていますが、まだまだ環境や雰囲気作りが追い付いていないと感じます。女性には人生の転機が多い分、選択を迫られる機会が多く、仕事と育児の両立を取りたくても片方しか取れない状況に悩まされている女性は、多いと思うし、私も将来に不安を抱えています。労働組合がそういった課題にも取り組んでいることが分かりました。